

2025年4月28日

株式会社博報堂DYホールディングス

**博報堂DYホールディングスのAI研究部門「Human-Centered AI Institute」、
“人間中心のアプローチによるAI”のビジョンを発信するブランドムービーを公開
—実写×生成AIのハイブリッド映像で世界観と未来像を表現—**

株式会社博報堂DYホールディングス（東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下博報堂DYホールディングス）は、生活者と社会に資する人間中心のアプローチによるAIの先端研究や技術開発を行う当社の研究部門「Human-Centered AI Institute」（代表：森正弥 CAIO、以下HCAI）のブランドムービーを公開しました。このムービーは、人間の創造性とAI技術が融合する「人間中心のアプローチによるAI」というHCAIのビジョンを、実写と最新生成AIによるハイブリッド映像で表現しています。



HCAI ブランドムービー：<https://youtu.be/ELtSqhqPsEo>

AIを取り巻く技術や市場の変化が加速する中、私たちはAIを単なる道具ではなく人間の創造性を引き出す次世代の基盤として活用していく必要があります。そういった人間の創造性とAI技術が融合する「人間中心のアプローチによるAI」というHCAIのビジョン、そしてAIが人の創造性を支援する未来像を映像という形で広く社会に発信するため、新たにブランドムービーを公開しました。

本ブランドムービーは、TBWA HAKUHODOのインハウスコンテンツラボ「DISCO」が中心となり、企画・脚本・撮影・編集・CGIをすべて内製いたしました。AIと人間の共創による新しい表現を模索するため、人間のリアリティや感情を伝えるパートは実写で撮影し、広大な風景や抽象的な概念表現には生成AIを活用するというハイブリッド手法を採用し、生成AI映像と実写をシームレスに融合させることで、「どこまでがAIなのか分からない」自然な映像体験を創出しました。

生成AIが急速に進化する現在において、実写と生成AIを補完的に使い分けるハイブリッド手法は、「人間がどこに関与し、どこをAIに委ねるのか」という問いに対する実践的な答えともなり得ます。人間の創造性、共感性、編集眼と、AIの演算力や生成能力が融合することで、これまでにないスピード感と柔軟性、そして創造性を持った新しい映像制作のあり方が浮かび上がりました。

また、制作においては最先端の生成AI動画ツールを日本国内でいち早く活用することにより、それぞれのAIが得意とする領域を掛け合わせたハイレベルな映像表現を実現しています。



生成 AI 映像と実写をシームレスに融合させた自然な映像体験を創出

HCAI は今後も「人間中心のアプローチによる AI」という理念のもと、AI が人間の力を引き出すクリエイティブの可能性拡張や、人間と AI の共創の実現を目指し研究・実践を進めてまいります。また、デジタル時代におけるコミュニケーション戦略の最前線を切り拓くパートナーとして、様々なステークホルダーと協力しながらより豊かな社会・経済活動に貢献してまいります。

<TBWA HAKUHODO のインハウス コンテンツラボ「DISCO」について>

本ブランドムービーの企画・制作の中心を担ったのは、TBWA HAKUHODO のインハウス コンテンツラボ「DISCO」です。「DISCO」は、TBWA の哲学である「DISRUPTION®（創造的破壊）」を体現する映像・コンテンツ制作組織で、2019 年の設立以来、企画・脚本・撮影・編集・CGI など全工程をワンストップで内製化し、CM、テレビ番組、映画、YouTube コンテンツまで多岐にわたる作品を制作してきました。

廃棄ホタテの貝殻を再利用した「HOTAMET」、世界初のボイスコマンド式公共トイレ「Hi Toilet」、音楽ドキュメンタリー番組「おかえり音楽室」、YouTube で累計 53 億回再生*を超える「THE FIRST TAKE」など、業界に革新をもたらすプロジェクトを手がけ、「つくること」への強いこだわりで映像業界の常識を更新し続けています。*2025 年 3 月末時点

本ブランドムービーに関するプレスリリース：<https://www.tbwahakuhodo.co.jp/news/hcai-disco/>

<HCAI について> <https://hcai.com/>



生活者と社会に資する人間中心のアプローチによる AI の先端研究や技術開発を行う博報堂 D Y ホールディングスの研究部門です。「人間中心のアプローチによる AI 研究所」として、AI による効率化の研究開発だけでなく、人のクリエイティビティを刺激し創造性を引き出すこれからの AI のあるべき姿を探求し、これに基づいた先端技術、応用技術の研究を進めることで、「生活者と社会を支える基盤」の構築を目指します。



HCAI（人間中心の AI）における理念「AI の目指すべき姿」

本件に関するお問い合わせ

株式会社博報堂 D Y ホールディングス グループ広報・IR 室 西川

koho.mail@hakuhodo.co.jp